

ナリス化粧品、ふきとり化粧水 国内販売シェア 6年連続 No.1

新型コロナウィルスの影響、2015年からの調査で初めて市場規模縮小

株式会社ナリス化粧品(代表者:村岡弘義 本社:大阪市福島区)は、主力商品である「ふきとり化粧水」の、2020年度(2020年4月から2021年3月)の企業別の国内販売動向調査を実施、国内シェアNo.1であることがわかりました。

当社は、2015年度(2016年8月実施)から、ふきとり化粧水の国内販売動向調査を実施していますが、今回の調査で6年連続国内販売シェアが1位となりました。新型コロナウィルスの影響により、インバウンド需要の縮小や、緊急事態宣言発令による店舗の休業など、化粧品業界各社は、販売機会の損失を受け、市場規模は縮小。調査を始めた2015年以降、毎年ふきとり化粧水の市場規模は拡大していましたが、今回の調査で初めて縮小となりました。尚、この調査は、2021年5月の実施で、外部調査機関「TPC マーケティングリサーチ株式会社」によるものです。この売上高には、当社のナショナルブランドに限り、OEM品、海外品は含まれません。



【市場動向と当社の状況】

ふきとり化粧水の市場規模は、5年前の調査では、170億円でしたが、2016年度は176億円、2017年度は194億円、2018年度は196億円、2019年度は、199億円と200億円に迫る勢いで順調に拡大していましたが、今回の調査では、前年度比14.6%減で170億円となり、調査を開始後、初めて縮小しました。新型コロナウィルスによる店舗の休業や対面で会う機会の減少、外出自粛の影響を受け、当社の売上高も前年度の約27億円から、約25億円と縮小しました。

しかし、ふきとり化粧水を核とした「ルクエ」ブランドを中心に、オンラインでのスキンケアレスの開始や、ドラッグストア流通のふきとり化粧水「ネイチャーコンク」の伸長※1などによる新規ユーザーの獲得もあり、その影響を最小限にとどめ、調査開始年には12.9%、2019

年度には13.6%だった国内シェアは、2020年度の今年度は14.7%と伸長しました。当社では、2017年に、ふきとり化粧水の国内販売シェア第1位を記念し、日本記念日協会に2月10日を「ふきとりの日」と申請し、認定されています。※1 薬用クリアローション 2021年3月度前年比148%



マスク着用が常態化、長時間化した現在、マスクをつけている部分がなんとなく気持ち悪い、すっきりしたいといった一般的な声も多く受けます。老化角質を取り除くことができる「ふきとり化粧水」は時代のニーズにマッチしたものであると感じるのと同時に、マスク着用による肌荒れの悩みも顕在化する中、本当に安心して使える化粧品が求められ、化粧品各社の力が試されているとも感じます。さらに効果と安全性を兼ね備えた、お客様に寄り添う化粧品の開発、提供に取り組みます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 ナリス化粧品 広報課 横谷(よこたに)

〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目11番17号 [TEL:06-6346-6672](tel:06-6346-6672)

FAX:06-6346-6569 E-mail:narispr@naris.co.jp HP:<http://www.naris.co.jp>

【ナリス化粧品の主なふきとり化粧水】

<p>【商品名】ルクエ コンク</p> 	<p>【商品名】マジェスタ コンクα・マジェスタ コンクβ</p> 
<p>【流通】訪問販売・ナリス化粧品店舗・通信販売 【価格】3,000 円（税抜）3,300 円（税込） 【容量】210mL 【発売日】2020年1月21日 【HP】www.naris.co.jp</p>	<p>【流通】訪問販売・ナリス化粧品店舗・通信販売 【価格】7,500 円（税抜）8,250 円（税込） 【容量】180mL 【発売日】2017年8月21日 【HP】www.naris.co.jp</p>
<p>【商品名】アウラス ザ フェイス クリア コンク (男性用)</p> 	<p>【商品名】ネイチャーコンク 薬用 クリアローション 薬用 クリアローション とてもしっとり</p> 
<p>【流通】訪問販売・ナリス化粧品店舗・通信販売 【価格】2,000 円（税抜）2,200 円（税込） 【容量】200mL 【発売日】2018年1月21日 【HP】www.naris.co.jp</p>	<p>【流通】ドラッグストア、量販店流通 【参考価格】850 円（税抜）935 円（税込） 【容量】200mL 【発売日】2021年2月10日 【HP】www.narisup.com</p>
<p>【クラリティア クリア コンク】</p> 	<p>【商品名】サイクルプラス スキン ライトニング コンク</p> 
<p>【流通】通信販売 【価格】4,500円（税抜）4,950円（税込） 【容量】165mL 【発売日】2020年8月17日 【HP】https://claritia-lissoie.jp/</p>	<p>【流通】通信販売 【価格】2,400 円（税抜）2,640 円（税込） 【容量】150mL 【発売日】2018年7月25日 【HP】www.cycleplus.jp</p>

【ふきとり化粧水とは】

余分な老化角質を取り除くことにより、肌のターンオーバーを促し、後で使用する化粧品の効果を高める目的で、1937年（昭和12年）に、創業者である村岡満義により開発・発売。当時は、「塗り重ねること」がスキンケアの常識であったため、常識を覆した商品として注目を浴びました。

スキンケアで使用する「化粧水」は、洗顔の後に一種類だけを使用することが一般的ですが、当社では、洗顔の後、「ふきとり化粧水」を使用してから、「化粧水」を使用するという2種類の化粧水を使用する独自の美容理論のもと、商品を構成しています。使用方法は、コットンにふきとり化粧水をしみ込ませ、やさしくふきります。

【ふきとり化粧水の歴史】

1937/昭和 12 年	初代ふきとり化粧水「コンク」発売
1953/昭和 28 年	ふきとり化粧水「コンク」と「クロロホルモンクリーム」のコンビ「お蚕美容法」を発表
1978/昭和 53 年	「C-C-C 美容理論」としてふきとり化粧水を核とした美容理論を発表
2013/平成 25 年	初の一般流通（ドラッグストアなど）用のふきとり化粧水「ネイチャーコンク」を発売
2017/平成 29 年	初の男性用ふきとり化粧水を「アウラス ザ フェイス」から発売
2017/平成 29 年	国内販売シェア No.1 を記念し 2 月 10 日を「ふきとりの日」に記念日認定
2018/平成 30 年	初の通販用ふきとり化粧水を「サイクルプラス」から発売
2018/平成 30 年	ふきとり化粧水使用時の「心地よさ」を数値化する手法について学会発表
2020/令和 2 年	オリジナルのふきとり成分「純化白花豆エキス」を「ルクエ」に配合



1937年 初のふきとり化粧水 コンク

※経済産業省 生産動態統計（2021年5月）によると、化粧品全体の出荷金額は、2019年の1兆7611億円に対し、2020年は、1兆4783億円。前年比83.9%。